

【別紙様式 2】

コンテナ苗の安定需給協定に係る企画提案書

令和 5 年 11 月 30 日

北海道森林管理局長あて

住所 北見市〇〇町 1 丁目 1 番地 1  
(代表者) 商号又は名称 北見苗畑  
代表者氏名 北見 一郎

住所 帯広市〇〇町 1 丁目 1 番地 1  
商号又は名称 帯広種苗  
代表者氏名 帯広 太郎

注) 共同で生産・販売を希望する者については、代表者が企画提案をとりまとめの上、一つの企画提案書として作成すること(申請者ごとに企画提案書を作成することのないよう留意すること)。

コンテナ苗の生産及び出荷方法等に係る取組についての企画提案書を下記のとおり提出します。  
本企画提案書の提出に当たっては、虚偽の事実がないこと、協定の締結後は本企画提案書の内容に基づく取組を行うことを確約します。  
また、企画提案の審査結果について異議申立てをしないこと、本企画提案書の内容を公表することについて了承します。  
なお、本企画提案書の内容に関する質問等への対応は以下の作成担当者が行います。

記

- 1 企画提案する取組内容【別紙様式 2-1】
- 2 共同で申請する理由(該当ある場合のみ記載)【別紙様式 2-2】
- 3 コンテナ苗の販売希望単価【別紙様式 2-3】
- 4 その他必要な書類(取組内容等を証する資料等)

以上

作成担当者	会社名	北見苗畑	連絡先	000-1111-2222
	役職名	●●部長	氏名	北見 太郎

【別紙様式2-1】

1 企画提案する取組内容

申請樹種： トドマツ

申請物件番号： 第1号

項目	取組内容
<p>コンテナ苗の生産や出荷方法等にかかるコストの縮減や効率化を図るもの</p>	<p>①コンテナ苗の生産にかかるコストの縮減を図るもの</p> <p>・平成〇年よりコンテナ苗の生産を始め、今年で〇年になる。生産開始当初はビニールハウス及び灌水設備を自己資本金で設置し〇〇千本の出荷を計画、平成〇年に〇〇千本を出荷することができた。平成〇年には〇〇補助事業によりハウス（灌水設備及び自動温度管理設備含む）を増設するとともに、〇名の専属スタッフを新たに雇用し、これまでのビニールハウスと併せて〇〇千本の生産体制とした。平成〇年には〇〇千本、平成〇年に〇〇千本と増産体制を確立し、令和〇年以降についても〇〇千本まで更なる増産を計画している。</p> <p>・平成〇年より〇〇法による種子の選別を行っており、この方式を取り入れたことにより発芽率が〇〇%から〇〇%まで向上した。一定量を安定的に生産できるよう今後は〇〇%を目指す。</p> <p>・テーブルトレーの活用による移植作業を導入したことにより、作業の効率化を図る。</p> <p>注）規模拡大や生産の効率化に向けたこれまでの施設整備等の取り組みを具体的に記載。また、整備に伴い、どのような計画で生産がなされ、さらに今後（将来的）にどのような生産計画をもっているか等を具体的に記載。</p> <p>②コンテナ苗の出荷方法の効率化を図るもの</p> <p>・出荷の際は、これまでコンテナ苗の根鉢をラップで包み、段ボールに梱包し造林事業者の指定する箇所に発送していたが、現地までの距離によっては、マルチキャビティコンテナのままの輸送も対応可能である。マルチキャビティコンテナでの引き渡しとマルチキャビティコンテナの返送が可能であれば、弊社としては、段ボール発送に係る手間が省け、効率化が図られると考えている。</p> <p>・第〇号物件については、コンテナ苗の出荷先と同じ東部育種区内に供給する苗木の生産施設が所在していることから、運搬経費の軽減等に貢献できる。</p> <p>注）これまで行ってきた出荷方法より、効率化が図られる出荷方法の提案等を具体的に記載。また、当該育種区に苗木生産施設を有していることにより生じる利点等に関する具体的な事例があれば記載。</p> <p>③資材等の有効利用を図るもの</p> <p>・出荷時の選別段階において、直にコンテナ苗を抜き差ししてきたが、本作業段階で根鉢が崩れることが多くあった。そこで、農業用で市販されている〇〇を使用したところ、耐久性（複数回の使用が可能）もあり取扱いも容易となる。</p> <p>・育苗段階において、インナー型コンテナを導入した。資材購入にコストはかかるものの〇回まで使用可能なため、コストの縮減が図られる。</p> <p>注）資材の工夫により、省力化やコスト縮減が図られる取組を具体的に記載。</p>
<p>コンテナ苗の利用価値の向上や普及拡大を図るもの</p>	<p>④コンテナ苗の付加価値の向上を図るもの</p> <p>・出荷時に樹種ごとに異なるサイズの段ボールに入れることで、根鉢の崩れや苗木の傷みなど少ない品質を確保した出荷を行う。</p> <p>注）良質なコンテナ苗の生産等を具体的に記載。</p> <p>⑤造林の省力化に資するもの</p> <p>・トドマツのコンテナ苗を対象として、700日間肥料の効果が保つ緩効性肥料による初期生長の優れた苗の生産技術の確立に取り組んでおり、令和〇年までに出荷量の〇%を緩効性肥料を使用したコンテナ苗とする。</p> <p>・下刈りの省力化を図れるよう試験的に大苗を生産し、令和〇年までに大苗の育苗技術を確立する。</p> <p>注）山出し後の工程で省力化に繋がる取組や工夫について具体的に記載。</p> <p>⑥新たな技術の開発や販路拡大を図るもの</p> <p>・トドマツのコンテナ苗について、通常4年間以上を要している育苗期間を3年間に短縮するための技術開発を行う。</p> <p>・コンテナ苗生産施設に〇〇装置を設置し、これまで手で管理していた工程を自動化することにより苗木の生長にムラをなくし、一定規格のコンテナ苗を安定的に生産する。</p> <p>・平成〇年からの増産計画に沿って安定的に出荷することが出来てきたことから、平成〇年に設備投資を行い、夏場に良質なコンテナ苗を出荷できる冷蔵施設を整備し、今後通年出荷を可能とする。</p> <p>注）施設及び苗木生産に伴う新技術の導入や新たな設備等の導入を具体的に記載。</p>

地域の振興等への 貢献を図るもの	⑦地域の林業等への 貢献を図るもの	<p>・ 苗木の販売収益の一部で森林整備基金を設立し、地元の森林整備に係る事業等に活用する。</p> <p>・ 地域の造林事業体に対し、苗木の活着率の向上に向けた苗木の取扱い等の研修会を開催し、コンテナ苗の普及及び地域林業への貢献を図る。</p> <p>・ 平成〇年度から〇〇山までの林道清掃（ゴミ拾いや簡易な不法投棄物の片付け）をボランティアを募って主催しており、今後も開催することで地元住民が森林整備の理解を深める機会を創出する。</p> <p>・ 地元農業高校生を対象にしたインターンシップを令和〇年（〇名）、令和〇年（〇名）に行ってきた。令和〇年に参加された者より弊社への就職要望があり、常用雇用者として採用した。</p> <p>・ 第〇号物件については、〇部育種区内で育苗していることから、適地適木の観点からより品質の良いコンテナ苗を供給することができる。</p> <p>注）地域に貢献した取り組み、表彰を受けた実績や地域の雇用の創出について具体的に記載。ただし、過去の表彰については、苗木生産のほか、森林・林業・林産業に係るもので、公募公告日より前の10年以内のものに限ることとし、表彰状の写しを添付する。また、イベントへの協力等は公募公告日より前の2年以内のものとする。さらに、当該育種区に苗木生産施設を有していることにより生じる利点等に関する具体的な事例があれば記載。</p>
	⑧その他地域への 貢献を図るもの	<p>・ 平成〇年より〇〇地区森林愛護組合長を歴任し、地域の森林整備に尽力している。</p> <p>・ 地元からの雇用を進めており、来年度以降も〇〇名ずつ募集する予定である。これまでの内訳としては、約〇割が女性であるため女性が働きやすい環境改善を行っていくほか、〇名は常用雇用であり閑散期の事業創出を進めている。</p> <p>注）雇用の状況や、地元で自ら行った（共同含む）森林整備に係るイベントやボランティア、森林・林業に関わる組織における役職等を具体的に記載。</p>
⑨上記以外に独自で行っている取組等	<p>・ 弊社は、昭和〇年より苗木生産を始め、〇〇町の森林整備における苗木を出荷してきた。当時より、造林事業体より苗木の活着状況や成長状況等の聞き取りなどを行い、苗木の生産や管理に活かしている。</p> <p>・ 森林総合研究所よりトドマツコンテナ苗の生産工程等の調査依頼を受けており、協力を行ってきた。また、森林総合研究所のデータの検証結果を基に苗木の生産や管理に活かしている。</p> <p>・ 雇用者への必要な社会保険の加入手続きを確実にしている。</p> <p>注）苗木生産や森林づくりにおける精通度のほか、独自の取り組みを具体的に記載。</p>	

注)

1. 協定期間における取組内容を可能な限り数値を示しつつ、かつ具体的に記載すること。なお、年度ごとに取り組み内容が異なる場合については、漏れなく記載すること。
2. 「地域の振興等への貢献を図るもの」について、過去の表彰実績を記載する場合は、公募公告日より前の10年以内のものに限ることとし、イベントへの協力等の実績については、公募公告日より前の2年以内のものに限る。
3. 複数樹種に対して申請する場合は、適宜表を追加して記載すること。

【別紙様式2-1】

1 企画提案する取組内容

申請樹種： カラマツ

申請物件番号： 第2号

項目	取組内容
<p>コンテナ苗の生産や出荷方法等にかかるコストの縮減や効率化を図るもの</p>	<p>①コンテナ苗の生産にかかるコストの縮減を図るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育苗時期と育苗場所を〇〇とすることで、過湿による病気の発生を防ぐことができる。</li> <li>・平成〇年よりコンテナ苗の生産を始め、今年で〇年になる。生産開始当初はビニールハウス及び灌水設備を自己資金で設置し〇〇千本の出荷を計画、平成〇年に〇〇千本を出荷することができた。平成〇年には〇〇補助事業によりハウス（灌水設備及び自動温度管理設備含む）を増設するとともに、〇名の専属スタッフを新たに雇用し、これまでのビニールハウスと併せて〇〇千本の生産体制とした。平成〇年には〇〇千本、平成〇年に〇〇千本と増産体制を確立し、令和〇年以降についても〇〇千本まで更なる増産を計画している。</li> <li>・平成〇年より〇〇法による種子の選別を行っており、この方式を取り入れたことにより発芽率が〇〇%から〇〇%まで向上した。一定量を安定的に生産できるよう今後は〇〇%を目指す。</li> <li>・テーブルトレイの活用による移植作業を導入したことにより、作業の効率化を図る。</li> </ul> <p>注) 規模拡大や生産の効率化に向けたこれまでの施設整備等の取り組みを具体的に記載。また、整備に伴い、どのような計画で生産がなされ、さらに今後（将来的）にどのような生産計画をもっているか等を具体的に記載。</p> <p>②コンテナ苗の出荷方法の効率化を図るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷の際は、これまでコンテナ苗の根鉢をラップで包み、段ボールに梱包し造林事業者の指定する箇所に発送していたが、現地までの距離によってはマルチキャビティコンテナのままの輸送も対応可能である。マルチキャビティコンテナでの引き渡しとマルチキャビティコンテナの返送が可能であれば、弊社としては、段ボール発送に係る手間が省け、効率化が図られると考えている。</li> <li>・第〇号物件については、コンテナ苗の出荷先と同じ東部育種区内に供給する苗木の生産施設が所在していることから、運搬経費の軽減等に貢献できる。</li> </ul> <p>注) これまで行ってきた出荷方法より、効率化が図られる出荷方法の提案等を具体的に記載。また、当該育種区に苗木生産施設を有していることにより生じる利点等に関する具体的な事例があれば記載。</p> <p>③資材等の有効利用を図るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷時の選別段階において、直にコンテナ苗を抜き差ししてきたが、本作業段階で根鉢が崩れることが多くあった。そこで、農業用で市販されている〇〇を使用したところ、耐久性（複数回の使用が可能）もあり取扱いも容易となる。</li> <li>・育苗段階において、インナー型コンテナを導入した。資材購入にコストはかかるものの〇回まで使用可能なため、コストの縮減が図られる。</li> </ul> <p>注) 資材の工夫により、省力化やコスト縮減が図られる取組を具体的に記載。</p>
<p>コンテナ苗の利用価値の向上や普及拡大を図るもの</p>	<p>④コンテナ苗の付加価値の向上を図るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育苗期間に〇〇を利用する技術により、出荷時の形状比を〇にすることで、山出し後の風害への耐性を高める。</li> <li>・出荷時に樹種ごとに異なるサイズの段ボールに入れることで、根鉢の崩れや苗木の傷みなど少ない品質を確保した出荷を行う。</li> </ul> <p>注) 良質なコンテナ苗の生産等を具体的に記載。</p> <p>⑤造林の省力化に資するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カラマツのコンテナ苗を対象として、灌水管理と4ヶ月間肥料の効果が保つ緩効性肥料の使用により初期生長の優れた苗の生産技術の確立に取り組んでいる。</li> <li>・試験的にカラマツ大苗を生産し、その成長を検証する。</li> </ul> <p>注) 山出し後の工程で省力化に繋がる取組や工夫について具体的に記載。</p>

	<p>⑥新たな技術の開発や販路拡大を図るもの</p>	<p>・カラマツのコンテナ苗について、通常2年間以上を要している育苗期間を1年間に短縮するための技術開発を行う。          ・コンテナ苗生産施設に〇〇装置を設置し、これまで手で管理していた工程を自動化することにより苗木の生長にムラをなくし、一定規格のコンテナ苗を安定的に生産する。          ・平成〇年からの増産計画に沿って安定的に出荷することが出来てきたことから、平成〇年に設備投資を行い、夏場に良質なコンテナ苗を出荷できる冷蔵施設を整備し、今後通年出荷を可能とする。</p> <p>注) 施設及び苗木生産に伴う新技術の導入や新たな設備等の導入を具体的に記載。</p>
<p>地域の振興等への貢献を図るもの</p>	<p>⑦地域の林業等への貢献を図るもの</p>	<p>・令和〇年度の全国山林苗畑品評会で〇〇が高く評価され、カラマツコンテナ苗が〇〇表彰を受賞した。今後主伐・再造林が進む中で、〇〇の技術を活用し高品質なコンテナ苗を安定的に生産できる体制を構築する。          ・苗木の販売収益の一部で森林整備基金を設立し、地元の森林整備に係る事業等に活用する。          ・地域の造林事業体に対し、苗木の活着率の向上に向けた苗木の取扱い等の研修会を開催し、コンテナ苗の普及及び地域林業への貢献を図る。          ・平成〇年度から〇〇山までの林道清掃（ゴミ拾いや簡易な不法投棄物の片付け）をボランティアを募って主催しており、今後も開催することで地元住民が森林整備の理解を深める機会を創出する。          ・地元農業高校生を対象にしたインターンシップを令和〇年（〇名）、令和〇年（〇名）に行ってきた。令和〇年に参加された者より弊社への就職要望があり、常用雇用者として採用した。          ・第〇号物件については、〇部育種区内で育苗していることから、適地適木の観点からより品質の良いコンテナ苗を供給することができる。</p> <p>注) 地域に貢献した取り組み、表彰を受けた実績や地域の雇用の創出について具体的に記載。ただし、過去の表彰については、苗木生産のほか、森林・林業・林産業に係るもので、公募公告日より前の10年以内のものに限ることとし、表彰状の写しを添付する。また、イベントへの協力等は公募公告日より前の2年以内のものとする。さらに、当該育種区に苗木生産施設を有していることにより生じる利点等に関する具体的な事例があれば記載。</p>
	<p>⑧その他地域への貢献を図るもの</p>	<p>・平成〇年より〇〇地区森林愛護組合長を歴任し、地域の森林整備に尽力している。          ・地元からの雇用を進めており、来年度以降も〇〇名ずつ募集する予定である。これまでの内訳としては、約〇割が女性であるため女性が働きやすい環境改善を行っていくほか、〇名は常用雇用であり閑散期の事業創出を進めていく。</p> <p>注) 雇用の状況や、地元で自ら行った（共同含む）森林整備に係るイベントやボランティア、森林・林業に関わる組織における役職等を具体的に記載。</p>
<p>⑨上記以外に独自で行っている取組等</p>		<p>・弊社は、昭和〇年より苗木生産を始め、〇〇町の森林整備における苗木を出荷してきた。当時より、造林事業体より苗木の活着状況や成長状況等の聞き取りなどを行い、苗木の生産や管理に活かしている。          ・雇用者への必要な社会保険の加入手続きを確実にしている。</p> <p>注) 苗木生産や森林づくりにおける精通度のほか、独自の取り組みを具体的に記載。</p>

注)

1. 協定期間における取組内容を可能な限り数値を示しつつ、かつ具体的に記載すること。なお、年度ごとに取組内容が異なる場合については、漏れなく記載すること。
2. 「地域の振興等への貢献を図るもの」について、過去の表彰実績を記載する場合は、公募公告日より前の10年以内のものに限ることとし、イベントへの協力等の実績については、公募公告日より前の2年以内のものに限る。
3. 複数樹種に対して申請する場合は、適宜表を追加して記載すること。

【別紙様式2-1】

1 企画提案する取組内容

申請樹種： クリーンラーチ

申請物件番号： 第3号

項目	取組内容
<p>コンテナ苗の生産や出荷方法等にかかるコストの縮減や効率化を図るもの</p>	<p>①コンテナ苗の生産にかかるコストの縮減を図るもの</p> <p>・平成〇年よりコンテナ苗の生産を始め、今年で〇年になる。生産開始当初はビニールハウス及び灌水設備を自己資本金で設置し〇〇千本の出荷を計画、平成〇年に〇〇千本を出荷することができた。平成〇年には〇〇補助事業によりハウス（灌水設備及び自動温度管理設備含む）を増設するとともに、〇名の専属スタッフを新たに雇用し、これまでのビニールハウスと併せて〇〇千本の生産体制とした。平成〇年には〇〇千本、平成〇年に〇〇千本と増産体制を確立し、令和〇年以降についても〇〇千本まで更なる増産を計画している。</p> <p>・平成〇年より〇〇法による種子の選別を行っており、この方式を取り入れたことにより発芽率が〇〇%から〇〇%まで向上した。一定量を安定的に生産できるよう今後は〇〇%を目指す。</p> <p>・テーブルトレーの活用による移植作業を導入したことにより、作業の効率化を図る。</p> <p>注) 規模拡大や生産の効率化に向けたこれまでの施設整備等の取り組みを具体的に記載。また、整備に伴い、どのような計画で生産がなされ、さらに今後（将来的）にどのような生産計画をもっているか等を具体的に記載。</p> <p>②コンテナ苗の出荷方法の効率化を図るもの</p> <p>・出荷の際は、これまでコンテナ苗の根鉢をラップで包み、段ボールに梱包し造林事業者の指定する箇所に発送していたが、現地までの距離によってはマルチキャビティコンテナのままの輸送も対応可能である。マルチキャビティコンテナでの引き渡しとマルチキャビティコンテナの返送が可能であれば、弊社としては、段ボール発送に係る手間が省け、効率化が図られると考えている。</p> <p>・第〇号物件については、コンテナ苗の出荷先と同じ東部育種区内に供給する苗木の生産施設が所在していることから、運搬経費の軽減等に貢献できる。</p> <p>注) これまで行ってきた出荷方法より、効率が図られる出荷方法の提案等を具体的に記載。また、当該育種区に苗木生産施設を有していることにより生じる利点等に関する具体的な事例があれば記載。</p> <p>③資材等の有効利用を図るもの</p> <p>・出荷時の選別段階において、直にコンテナ苗を抜き差ししてきたが、本作業段階で根鉢が崩れることが多くあった。そこで、農業用で市販されている〇〇を使用したところ、耐久性（複数回の使用が可能）もあり取扱いも容易となる。</p> <p>・育苗段階において、インナー型コンテナを導入した。資材購入にコストはかかるものの〇回まで使用可能なため、コストの縮減が図られる。</p> <p>注) 資材の工夫により、省力化やコスト縮減が図られる取組を具体的に記載。</p>
<p>コンテナ苗の利用価値の向上や普及拡大を図るもの</p>	<p>④コンテナ苗の付加価値の向上を図るもの</p> <p>・〇〇の技術の導入によりクリーンラーチ挿し木の発根率が〇%から〇%へ高まり根鉢の形成が保たれるため、コンテナ移植後の成長が期待できる。</p> <p>・出荷時に樹種ごとに異なるサイズの段ボールに入れることで、根鉢の崩れや苗木の傷みなど少ない品質を確保した出荷を行う。</p> <p>注) 良質なコンテナ苗の生産等を具体的に記載。</p> <p>⑤造林の省力化に資するもの</p> <p>・クリーンラーチのコンテナ苗を対象として、施肥効果期間が異なる2種類の緩効性肥料を配合した初期生長の優れた苗の生産技術の確立に取り組んでおり、山出し後の良好な成長が見込まれるため無下刈が可能となる。令和〇年までに出荷量の〇%を緩効性肥料を使用したコンテナ苗とする。</p> <p>注) 山出し後の工程で省力化に繋がる取組や工夫について具体的に記載。</p>

	<p>⑥新たな技術の開発や販路拡大を図るもの</p>	<p>・挿し木の育苗を〇〇の条件のもと施肥の管理をすることで得苗率が〇%に向上することから、令和〇年までに出荷量を〇〇本を目指す。</p> <p>・コンテナ苗生産施設に〇〇装置を設置し、これまで手で管理していた工程を自動化することにより苗木の生長にムラをなくし、一定規格のコンテナ苗を安定的に生産する。</p> <p>・平成〇年からの増産計画に沿って安定的に出荷することが出来てきたことから、平成〇年に設備投資を行い、夏場に良質なコンテナ苗を出荷できる冷蔵施設を整備し、今後通年出荷を可能とする。</p> <p>注) 施設及び苗木生産に伴う新技術の導入や新たな設備等の導入を具体的に記載。</p>
<p>地域の振興等への貢献を図るもの</p>	<p>⑦地域の林業等への貢献を図るもの</p>	<p>・〇〇町が開催した〇〇祭において、クリーンラーチを広く普及するため弊社のコンテナ苗〇〇本を無償提供してきた。今後林業経営者や造林事業者にも率先して利用してもらえるよう、〇〇祭への参加を通してコンテナ苗の普及に貢献する。</p> <p>・苗木の販売収益の一部で森林整備基金を設立し、地元の森林整備に係る事業等に活用する。</p> <p>・地域の造林事業体に対し、苗木の活着率の向上に向けた苗木の取扱い等の研修会を開催し、コンテナ苗の普及及び地域林業への貢献を図る。</p> <p>・平成〇年度から〇〇山までの林道清掃（ゴミ拾いや簡易な不法投棄物の片付け）をボランティアを募って主催しており、今後も開催することで地元住民が森林整備の理解を深める機会を創出する。</p> <p>・地元農業高校生を対象にしたインターンシップを令和〇年（〇名）、令和〇年（〇名）に行ってきた。令和〇年に参加された者より弊社への就職要望があり、常用雇用者として採用した。</p> <p>・第〇号物件については、〇部育種区内で育苗していることから、適地適木の観点からより品質の良いコンテナ苗を供給することができる。</p> <p>注) 地域に貢献した取り組み、表彰を受けた実績や地域の雇用の創出について具体的に記載。ただし、過去の表彰については、苗木生産のほか、森林・林業・林産業に係るもので、公募公告日より前の10年以内のものに限ることとし、表彰状の写しを添付する。また、イベントへの協力等は公募公告日より前の2年以内のものとする。さらに、当該育種区に苗木生産施設を有していることにより生じる利点等に関する具体的な事例があれば記載。</p>
	<p>⑧その他地域への貢献を図るもの</p>	<p>・平成〇年より〇〇地区森林愛護組合長を歴任し、地域の森林整備に尽力している。</p> <p>・地元からの雇用を進めており、来年度以降も〇〇名ずつ募集する予定である。これまでの内訳としては、約〇割が女性であるため女性が働きやすい環境改善を行っていくほか、〇名は常用雇用であり閑散期の事業創出を進めていく。</p> <p>注) 雇用の状況や、地元で自ら行った（共同含む）森林整備に係るイベントやボランティア、森林・林業に関わる組織における役職等を具体的に記載。</p>
<p>⑨上記以外に独自で行っている取組等</p>		<p>・弊社は、昭和〇年より苗木生産を始め、〇〇町の森林整備における苗木を出荷してきた。当時より、造林事業体より苗木の活着状況や成長状況等の聞き取りなどを行い、苗木の生産や管理に活かしている。</p> <p>・北海道林業試験場よりクリーンラーチコンテナ苗の生産に係る湿度・温度管理等の調査依頼を受けており、協力を行ってきた。また、林業試験場の助言を基に新たな機械の導入を進め苗木の生産や管理に活かしている。</p> <p>・雇用者への必要な社会保険の加入手続きを確実にしている。</p> <p>注) 苗木生産や森林づくりにおける精通度のほか、独自の取り組みを具体的に記載。</p>

注)

1. 協定期間における取組内容を可能な限り数値を示しつつ、かつ具体的に記載すること。なお、年度ごとに取り組み内容が異なる場合については、漏れなく記載すること。
2. 「地域の振興等への貢献を図るもの」について、過去の表彰実績を記載する場合は、公募公告日より前の10年以内のものに限ることとし、イベントへの協力等の実績については、公募公告日より前の2年以内のものに限る。
3. 複数樹種に対して申請する場合は、適宜表を追加して記載すること。

【別紙様式 2 - 2】

2 共同で申請する理由

- ・単独での申請では公募数量を満たせないため。
- ・北見苗畑の〇〇という生産技術を帯広種苗でも実践し、生産量の拡大と品質向上を図る。
- ・北見地区の森林管理署の需要には北見苗畑が、帯広地区の森林管理署の需要には帯広種苗が供給することができ、運搬コストの軽減に貢献できる。

注)

共同で生産・販売を希望する場合、その理由を具体的に記載すること。

【別紙様式 2 - 3】

3 コンテナ苗販売希望単価

物件番号	樹種	1本あたり販売希望単価（円）
第1号	トドマツ	〇〇
第2号	カラマツ	●●

注)

1本あたり販売希望単価は公募公告日現在のものとし、消費税抜き金額を記載すること。